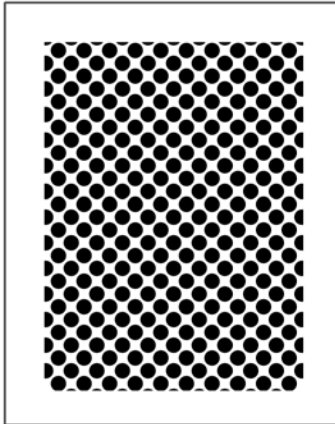


## アナログ原稿編：スクリーントーンの使い方



スクリーントーンってなに？

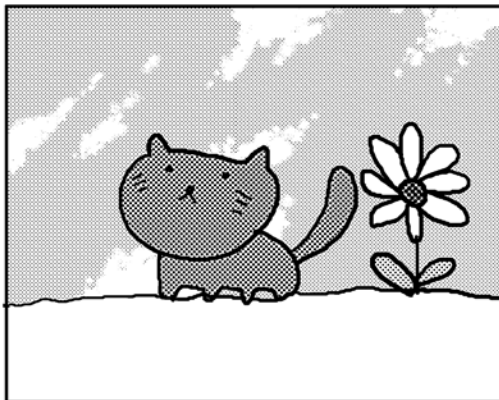
透明なシートの上にドット、アミ、罫線、点描、柄、グラデーションなどが印刷されており、漫画原稿に貼って使うよ！原稿用紙に貼るシールのようなものです！

原稿において、擬似的に色彩を表現することが出来ます。他にも建物や背景など描かれたものや、集中線などの効果が描かれているものもあります。

簡単な使い方を下の図で。



はじめてトーンを使う場合は、ゆっくり丁寧にやるのが大切です！  
丁寧にやれば見栄えもぐっとよくなりますよ。



トーン一枚でいろいろなことが出来るので、使いはじめの頃はいろいろ試してみよう。切ったり、削ったり、貼ったり…。やりだすとまじりがなくなるのもトーンではよくあることだったり。

裏面ではよく見かけるトーンの貼られ方を紹介します。

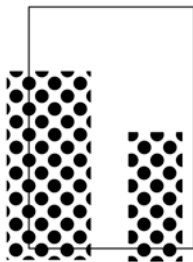
注意点を覚えて自分だけのアナログ原稿を作っちゃいましょう！

！よく見かける一例です！

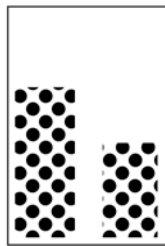
- **きちんと貼られていない**  
きちんと押さえて貼らないと空気の浮きが起きてしまいそれがそのまま印刷に出てしまうのです。
- **トーンに直接こすってしまっている。**  
トーンに押さえてを当てずにそのまま直接トーンをこすって押さえてつけてしまうのを見かけます。  
こすりつけた跡は濃いトーンほど印刷に出やすいので必ず当て紙で押さえてトーンを接着しましょう。直接押さえてつけてこすると破けやすいので注意！
- **コピックでトーンの代わりに使用、グレーで塗っている。**  
下の絵を見てください。  
コピックのグレーの色でトーン効果を出そうとしてほとんどつぶれてしまったり再現されなかったりします。  
コピックで塗った上にトーンを貼っても汚く出てしまうのでトーンを使用して仕上げましょう！  
当然カラーペンも再現されないので使用はやめましょう！



- **原稿からトーンがはみ出て貼られている。**  
原稿からはみ出たままだとべろっと剥がれる恐れがあるので気をつけよう！



はみ出している  
と剥がれやすい  
ので注意！



原稿用紙内に  
きちんと貼っておけば  
剥がれる心配もないわ！

- 次回はトーンの削り方や重ね方を伝えられたらと思います！  
ではまた次回！